

## My JpGU : 日本地球惑星科学連合会員のためのソーシャルネットワークサービス My JpGU: a social network service for Japan Geoscience Union members

近藤 康久<sup>1\*</sup>; 小口 高<sup>2</sup>; 村山 泰啓<sup>3</sup>; 川幡 穂高<sup>4</sup>

KONDO, Yasuhisa<sup>1\*</sup>; OGUCHI, Takashi<sup>2</sup>; MURAYAMA, Yasuhiro<sup>3</sup>; KAWAHATA, Hodaka<sup>4</sup>

<sup>1</sup> 総合地球環境学研究所, <sup>2</sup> 東京大学空間情報科学研究センター, <sup>3</sup> 情報通信研究機構, <sup>4</sup> 東京大学大気海洋研究所

<sup>1</sup>Research Institute for Humanity and Nature, <sup>2</sup>Center for Spatial Information Science, The University of Tokyo, <sup>3</sup>National Institute of Information and Communications Technology, <sup>4</sup>Atmosphere and Ocean Research Institute, The University of Tokyo

日本地球惑星科学連合 (JpGU) は地球惑星科学に関連する 50 の学協会の連合体であり、9,000 名を超える会員を擁する、日本でも有数の大規模学会である。2014 年大会には 7,046 名の参加登録があり、5 日間で 194 のセッションが行われ、口頭発表 2,428 件とポスター発表 1,378 件が行われた。このように大規模な学会になると、会員数が数百名規模の小規模学会に比べて研究者間のコミュニケーションが希薄になる傾向がある。JpGU では 2011 年に Twitter と Facebook のアカウントを開設し、2013 年からはスマートフォン向け大会アプリを導入したが、情報伝達は事務局から会員への一方方向にとどまっていた。そのため、特に大会期間とその前後に、会員間の双方向的なコミュニケーションを支援・促進するようなソーシャルネットワークサービス (SNS) への潜在的な需要があるものと判断された。

また、JpGU は 2013 年に完全オープンアクセスのオンライン英文査読誌 Progress in Earth and Planetary Science (PEPS; [http://progearthplanetsci.org/index\\_j.html](http://progearthplanetsci.org/index_j.html)) を創刊した。読者と投稿者を増やすための方策として、会員向けに PEPS の論文情報を重点的に配信するサービスが必要であると判断された。

以上の 2 つの動機から、JpGU では会員が互いに研究内容を紹介しあうためのサイエンス・コミュニケーション・ツールとして、会員向け SNS 「My JpGU」 (<http://mypage.jpгу.org>) を開発した。JpGU の会員になると My JpGU のアカウントが与えられ、個人のページに、研究室ウェブサイトや Twitter、Facebook、LinkedIn などの既存 SNS、Researchmap (科学技術振興機構が提供する日本の研究者 SNS; <http://researchmap.jp>) などへのリンクを登録できる。個人情報の公開範囲は一般公開、メンバー (すなわち JpGU 会員) に限定公開、公開しない、のいずれかを選択することができる。くわえて、個人ページには専門分野、研究トピック、業績リスト、資料、画像、動画 URL などを掲載することができる。業績リストについては、国際的な研究者の一意識別子である ORCID (<http://orcid.org>) を用いて、ORCID に登録された業績情報との相互一括データ交換を実現した。資料、画像、動画は大会での研究発表に用いたプレゼンテーションファイルをアップロードすることを想定している。また、PEPS 掲載論文を検索できる機能や、注目の研究者にブックマークをつける機能も実装した。

2014 年 3 月のリリースから 2015 年 1 月までの 10 か月間に、2,762 名のユニークユーザが My JpGU のウェブサイトを訪れた。そのうちの 93% は日本からのアクセスであったが、米国、ロシア、ブラジル、ドイツ、オランダ、中国などからのアクセスもあった。My JpGU の個人ページを編集した会員は 55 名で、ORCID とのデータ連携をおこなったユーザは 26 名であった。まだまだ利用者が少ないので、情報システム委員会を中心として一層の利用促進と機能改善を図っていきたい。

キーワード: 日本地球惑星科学連合, ソーシャルネットワークサービス, 学術コミュニケーション

Keywords: Japan Geoscience Union, social network services, scholarly communication